

平成27年 食と観光対策特別委員会 開催状況（経済部観光局）

開催年月日 平成27年7月9日

質問者 公明党 吉井 透 委員

答弁者 観光振興監、国際観光担当局長、観光局参事

質問要旨	答弁要旨
<p>一 観光客受入体制の整備について （吉井委員） 繰り返しになりますけれども、知事は、「世界が憧れる観光立国北海道」を実現するため、外国人観光客300万人の目標達成に向けて、さまざまな取組を進めていくというお話をされております。</p> <p>外国人観光客は、平成25年度で115万人、平成26年度の数字はまだ公表されておられませんけれども、暦年で見ると137万人ということで、すでに前年度を上回っており、急増の一途をたどっているというふうに考えられますが、こうした外国人観光客の急増に対応するために、受入体制の整備推進は極めて重要と考えており、以下数点にわたってお伺いをします。</p> <p>（一）観光客受入体制整備の推進について （吉井委員） 説明いただいた「平成28年度国の施策及び予算に関する提案・要望の概要」で、1点目の「世界に向けた滞在型観光地づくりの推進」の中で、五つ目のマルになりますけれども「○観光客受入体制整備の推進」を要望をされております。</p> <p>私の地元では、昨年秋から旭川空港にC I Qが整備をされました。また、この6月からは国の制度を活用した全国2番目の第三者委託による免税手続き一括カウンターが、旭川平和通商店街にオープンをしているところであります。</p> <p>こうした動きが進む中で、外国人観光客の受入体制整備の推進に向けて道としてどういった要望をされるのか、また、そうした要望に至るのにどういう経緯があるのかということについてお伺いをします。</p> <p>（二）Wi-Fi環境の整備について （吉井委員） 過去に観光庁が行った「訪日外国人旅行者の公衆無線LAN環境に関する調査」によりますと、外国人旅行者が「旅行中最も困ったこと」の第1位に「無料公衆無線LAN」、いわゆるこのWi-Fi環境ですが、これをあげています。</p> <p>急増する外国人観光客に対応するため、また、道としても外国人観光客300万人の目標を達成するためには、こうしたWi-Fi環境の整備促進は喫緊の課題であり、これを道としてどのように取り組んでいくのか、次に伺います。</p>	<p>（観光局参事（竹花）） 国への要望についてでございますが、国におきましては、訪日外国人観光客2000万人達成に向け各般の施策を展開しているところであり、道におきましても2020年を目途とした外国人観光客300万人の目標に向けた取組を推進しているところでございます。</p> <p>この目標達成のためには、外国人観光客の利便性を高めるなど、本道を訪れる外国人観光客の満足度の向上を図っていくことが重要でありますことから、道では、受入体制の整備促進に向け、外国語併記の観光案内標識の設置や無料公衆無線LANの整備、景観を阻害する廃屋の撤去などのハード整備を含めた支援制度の創設、道内各空港の国際線利用者の増加に伴いますターミナル施設やC I Q体制の充実などについて、平成28年度の国費要望の項目に盛り込んだところでございます。</p> <p>（観光局参事（竹花）） Wi-Fi環境の整備についてでございますが、外国人観光客に本道観光を安心して快適に楽しんでもいただくためには、必要な情報を手軽に入手し、また、旅の魅力や思い出をインターネットを利用して、気軽に発信できる環境の整備が重要と認識しております。</p> <p>このため、道では、観光振興機構、NTT東日本と協力連携協定を締結し、振興局や市町村、観光関連団体を通じて、無料公衆無線LANの普及を働きかけ、現在、全道約580カ所のアクセスポイントで利用可能となっているほか、赤れんが庁舎など道の施設での整備にも取り組んできたところでございます。</p> <p>今後も、大手通信事業者に対して働きかけを行うなどして、外国人観光客が利用できる無料公衆無線LANのアクセスポイントのさらなる増加を図ってまいります。</p>

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>(吉井委員) アクセスポイントについてのご答弁がありましたけれども、昨年3定で同僚議員が質問した答弁と同じ数字となっていますが、今はたぶんもうちょっと増えてると思いますので、これはあの、引き続きですね追跡調査をしっかりやっていただきたいかと思います。</p> <p>(三) 地域の取組の促進について (吉井委員) 旭川では毎年2月に、ご承知のとおり「あさひかわ冬まつり」が開催されております。約90万人が来場して、多くの外国人が訪れていますけれども、今年開催されたこの冬まつりにおいて、電源自給型可搬無線データ通信装置、いわゆる太陽光発電を搭載して、そこに高速通信回線、いわゆる携帯電話からの回線を、LTEとかですけれども、それを使ってWi-Fiに変換をして屋外に出すという、こういう装置であります。これを使って屋外会場全域に公衆無線LANを構築したと、Wi-Fi環境をつくったという、それで海外からの観光客のサービスの向上に取り組んだという事例がありますけれども、この冬まつりで、会場限定グッズの「ピンバッジ」の情報をこのWi-Fiを通じて発信をしたということです。1個500円のピンバッジでありますけれども、これをWi-Fiで見た外国人観光客が多数購入をしてくれて、そうした誘発が、爆買いというところまではいかなかったと思いますけれども、契機となって2日ほどで完売をしてしまったと、こういう事例があります。外国人にとって必須のWi-Fiに情報発信することで、自治体やイベントなどのアピールにも活用できた好事例と考えます。この電源自給型可搬無線データ通信装置の設置に係る費用の回収にも役立ったと思われるし、また、自治体などがWi-Fi環境整備に取り組む一つのモデルケースということになると思いますが、こうした取組を道は推進すべきと考えております。所見をお伺いします。</p> <p>(吉井委員) 先ほどの答弁の中で、大手の事業者と連携してという話がありました。NTTだと思いますけれども、これそのまま使うとですね、実はこうした仕掛けができないということでありまして、若干自治体にもその仕組みが必要で、若干そこに投資が、数十万円規模だと思いますけれども、必要だということでもありますので、この仕組みがどういうふうに行ったのかということも含めて、ただいまご答弁にあったような周知をするところを、お願いをしたいかというふうに思います。</p>	<p>(観光局参事(竹花)) 地域の取組についてでございますが、本年2月に開催された「あさひかわ冬まつり」におきまして、実行委員会が移動式の無料公衆無線LANを石狩川河畔の会場に設置し、外国人観光客をはじめ、多くの方々にインターネット接続ができる環境を提供したと承知しております。また、お祭りの状況や会場で限定販売したピンバッジを外国人観光客がSNSを通じて発信した結果、大きな反響があったと伺っているところでございます。このように地域のイベントや観光施設の情報を外国人観光客が友人等に対しインターネットで情報発信することは、地域への誘客に大変効果的であると考えられますことから、アクセスポイントの増加とともに、こうしたイベントにおけます好事例を市町村に紹介するなどして、Wi-Fi環境整備の重要性について周知してまいりたいと考えてございます。</p>

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>(四) 広域観光周遊ルートについて (吉井委員) 訪日外国人観光客2000万人に向けて、国は今年度から地方空港を利用して外国人が6泊以上滞在することを想定した広域観光周遊ルート形成促進事業を実施をしました。</p> <p>全国各地から提案のあった広域観光周遊ルート形成計画が7件認定されて、北海道におきましても、道北・道東を中心に周遊ルート「アジアの宝 悠久の自然の美への道ひがし北・海・道」が認定されたというふうに承知をしています。</p> <p>今回認定を受けた計画によっても外国人観光客の受入体制の整備等を目指して行くことになると思いますが、この計画の目的や期待される効果はどのようなものか、お伺いをします。</p> <p>(吉井委員) 今、ご答弁がありましたけれども、こうしたルートの認定がされるということは、Wi-Fi環境、それから、道路整備とインフラの整備にもいづれはつながっていくものと考えておりまして、私は非常に喜ばしいというふうに思っているところでございますので、是非、しっかりそのへんのところも含めて取組をお願いしたいと思えます。</p> <p>(五) 今後の取組について (吉井委員) あさひかわ冬まつりや、道北・道東を中心とする周遊ルートなど、地域では独自の取組が進められております。Wi-Fi環境整備も含めた今後の取組について、外国人観光客の受入体制整備を道としてどのように進めていくのか、最後に観光振興監にお伺いをします。</p>	<p>(国際観光担当局長) 広域観光周遊ルートについてでございますが、今般、国により認定されました広域観光周遊ルート形成計画は、道北・道東の雄大で美しい田園風景や大自然、極上の食などの観光素材を有する観光地域をネットワーク化いたしまして、魅力ある観光メニューや必要な受入体制づくりを進め、海外へ積極的に情報発信を行うことによりまして、来訪を強く動機づけることを目的としているところでございます。</p> <p>今後は、国からの支援を受けつつ魅力ある周遊ルートの形成を図ることによりまして、道央圏に集中しがちな外国人観光客を道北・道東地域に誘客することによりまして、来道観光客数の底上げにも大変大きな効果が期待できるものと考えているところでございます。</p> <p>(観光振興監) 受入に向けた今後の取組についてであります。道では、外国人観光客の一層の拡大を図るため、空港機能の充実やWi-Fi環境の整備、多言語化に対応できる人材の育成、ハイエンド層に対応できる宿泊施設の充実に向けた投資の促進など、受入体制の整備に取り組むこととしていただいております。</p> <p>また、外国人観光客の地域での旅行消費の拡大や、買い物しやすい環境づくりに向けプレミアム旅行券を発行し免税店の拡大を図ることとしておりますが、「あさひかわ冬まつり」でのWi-Fi環境の提供や旭川平和通商店街での免税手続一括カウンターの設置などの取組は、商店街など地域が一体となって外国人観光客を誘致する手法として大変有効であると考えているところであります。</p> <p>道としては、こうした、地域での取組とも十分連携しながら受入体制をさらに充実するなどして、外国人にとって魅力ある質の高い観光地づくりに官民一体となって取り組み、交流人口の増大と観光消費の拡大による地域と経済の活性化につなげてまいりたいと考えております。</p>